# 下肢静脈瘤

朝霞地区医師会　飯田　衛
☎048-464-4666

## 1. 下肢静脈瘤とは

下肢（あし）の表面を走る血管がボコボコに膨らんでしまう状態で、比較的頻度の高い静脈の疾患です。

## 2. 下肢静脈瘤の要因

静脈瘤になりやすい要因に、妊娠・出産（それゆえ、女性に多い疾患です）、長時間の立ち仕事や重い荷物を扱う仕事などがあります。また、身内に静脈瘤の人がいたりすると発症頻度は高まりますし、年を取ることも一つの要因とされています。

## 3. 下肢静脈瘤ができるわけ

下肢の静脈は、重力に逆らって血液を心臓（上の方向）に返す役目を担っています。そのため、血液が下の方向に逆流しないように、静脈のあちこちに逆流防止弁がくっついています。

静脈瘤は、前述の要因などで皮膚の表面を走る静脈（表在静脈）の逆流防止弁が壊される結果生じます。壊された弁は、静脈での血液逆流防止の役目を果たせなくなり、血液が下方向に逆流するようになってしまいます。こうして血液がどんどん逆流する結果、静脈が拡張・蛇行し、こぶ状（静脈瘤）となってしまうのです。

## 4. 症状

下肢静脈瘤は、放置すると徐々に病状が進行し、下肢のだるさ、重さ、疲れ、痛み、むくみ、かゆみ、つり（こむら返り）などの症状が現れます。さらに症状が進行すると、皮膚が茶色く硬くなり、えぐれてきます（潰瘍形成）。一度潰瘍を形成すると非常に治りにくくなり、治療期間も長引きます。

静脈瘤は、悪性の病気でないことから放置されやすいですが、前述のとおり、一度進行すると治りにくくなるため、以上のような症状が現れたり、皮膚に変化が起こってきたりしたら、速やかに医療機関への受診をお勧めします。

## 5. 検査

超音波（エコー）検査で、逆流のポイントや程度を調べます。おなかの赤ちゃんを観察するときによく行われるおなじみの検査です。感度が非常に良く、痛くもかゆくもないので患者さんにとって、〝とっても楽ちん〟な検査です。

## 6. 治療

①保存的治療…寝るときに脚を高くする、軽い運動をする、長時間の立ち仕事を避ける、弾性ストッキングを着用するなどの治療法です。静脈瘤そのものを治すわけではなく、症状の緩和や進行防止を目的とした治療法です。

②硬化療法…注射薬をこぶに注入する方法です。この注射薬が接着剤の役目を果たします。注入した後、その部位を強く圧迫することにより、こぶ内の壁同士がペッタンコにくっついて静脈瘤は消失します。

③静脈抜去術（ストリッピング）…太ももの付け根から足首（あるいは膝）までの壊れた表在静脈を引き抜く治療法です。下肢静脈瘤の根本的な治療として最も確実な方法で、静脈瘤治療の王様です。

④高位結紮療法…血液が逆流している表在静脈を数か所結んだ後、切り離す方法です。これにより逆流をせき止めてしまおうというわけです。硬化療法を併用することも多いです。

いずれの治療法にも利点・欠点がありますが、最近は、よほど重症でない限り、外来治療が可能です。お心当たりの方は、お近くの医療機関へ遠慮なくご相談ください。

## 日曜・休日に実施している医療機関

午前10：00～午後４：00

| 月日 | | 場所 | 診療所名 | 科目 | ☎(048) | 場所 | 診療所名 | 科目 | ☎(048) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 3 | 和光 | 西谷医院 | 内・小 | 461-2226 | 朝霞 | 北朝霞藤宮眼科 | 眼 | 474-1417 |
| | 10 | 朝霞 | 北朝霞・朝霞台えきまえエスエスこどもクリニック | 小 | 476-3002 | 新座 | 志木駅前クリニック | 内・循 | 473-8101 |
| | 17 | 新座 | 田中医院 | 内・外・循・消 | 477-3536 | 志木 | 田口皮膚科医院 | 皮 | 473-8889 |
| | 24 | 和光 | 新倉診療所 | 内・外 | 467-1155 | 朝霞 | はねだクリニック | 内・外・消・肛・放 | 469-2139 |

※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。

**※８月の休日歯科応急診療所**
- 実施日　８／３㈰・10㈰・17㈰・24㈰
- 受付時間　午前９時～11時30分
- 場所　新座市休日歯科応急診療所（新座市保健センター）
- 診察料　健康保険法の規定料金（保険証を必ずお持ちください。）
- 問い合わせ　☎048-481-2211

**☆今月の主な保健衛生週間行事予定**
１～31日は「食品衛生月間」です！

**※救急医療のお問い合わせ**
- ●埼玉県救急医療情報センター　☎048-824-4199
- ●埼玉県南西部消防本部　☎048-460-0123

**※小児救急電話相談**
- ●＃8000（携帯電話からも相談可能）